様式３（2020.08改）

作成日　令和 4年 11月 9日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392400160
事業所名	グループホーム半田ケアセンターそよ風

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	町内会には加入していないが、地域の掲示板などで情報を得ている。平常であれば、盆踊りや山車祭りに参加したり、憩の家のサロンに入居者と一緒に出掛けて地域の方と交流しているが、コロナ禍で自粛している。また、事業所の夏祭りに地域ボランティアの協力を得たり、ゲームなどの催し物に地域の方々も参加して交流を深めたり、併設するデイサービスの行事にも参加しているが、現状は踏みとどまっている。コロナの感染状況を確認しつつ、近くの朝市をのぞいたり、少人数でドライブを兼ねて桜や花しょうぶなど季節の花を見に行き、地域の風情や四季の変化に親しむようにしている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	コロナ禍により書面開催として2か月に1回開催している。事業所の運営状況や活動内容、事故報告、感染予防対策等の報告をまとめた議事録に、意見聴収ための返信用葉書を同封して、入居者家族や民生委員、市や地域包括支援センターの職員に郵送している。いただいた葉書には事業所のコロナ対策に対する理解の言葉や職員に対する励ましや、ねぎらいの言葉などが寄せられ職員の励みとなり、サービスの向上にも活かされている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	通常は、運営推進会議に市の担当者が毎回出席し、情報やアドバイスを得ている。担当窓口には介護保険更新手続きや申請の代行業務等で訪れた際、事業所の取り組みなどを伝え、情報交換をしたりアドバイスや指導を受けたり、講演会の講師依頼もあるなど、良好な協力関係を築いている。職員が市主催の研修会に参加できるよう案内を掲示している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	入居者からは日々の関わりの中から思いを聞き、記録し全職員が共有してケアに繋げている。家族とはコロナ禍によりこまめに電話で話をすることが多くなっている。また、運営推進会議の返信葉書や衣類の受け渡し時、面会時などで意見や要望を聞き、ケアや業務改善に役立てている。毎月各ユニットごとに、入居者の日常の様子の写真やコメントの入った新聞を発行し家族には安心感を届けている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		◎

【備考欄】

今年度もコロナ禍により、地域の行事やデーサービスとの合同イベント、ユニットの合同イベントは自粛をしている。コロナ感染症の状況を確認しながら、玄関先や相談室での面会の再開、散歩がてら近くの朝市を覗いたりして少しづつではあるが外出の機会を試みている。コロナ感染症の看護体験を通して、今まで以上に職員の結束が高まり、職員一人ひとりが入居者に寄り添い、笑顔で感謝の気持ちや思いやりを持って接することを実体験している。コロナ禍の状況を確認し予防対策をしながら、地域との繋がりを再開していく方向にある。

１．外部評価軽減要件

① 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

② 運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④ 別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○	◎								